

IEC TC100 Web会議報告

本年5月18日(火)～26日(木)にWebにて、IEC(国際電気標準会議) TC100(AV・マルチメディア、システムおよび機器) AGS(戦略諮問会議)/AGM(運営諮問会議)および傘下グループの会議が開催され、活発な審議が行われました。以下では会期中の審議・決議の中から重要な議案について紹介します。

TC100概要

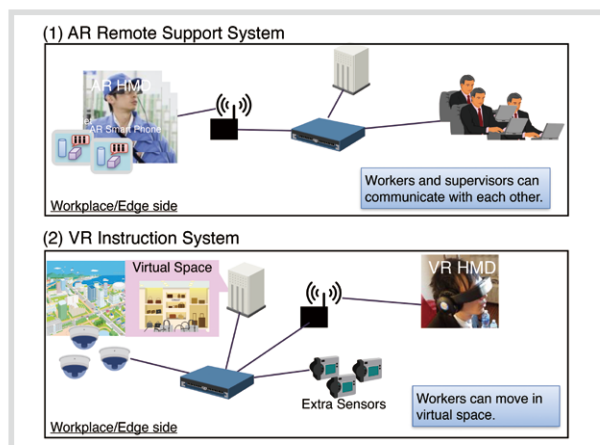
IEC TC100(AV・マルチメディア、システムおよび機器)：1995年10月に設立・2004年1月より日本が幹事国を務めており、現在、国際幹事：寺崎(パナソニック)、国際副幹事：佐久間(東芝)、上原(ソニーグループ)、Pメンバー(投票権を持つ国)：20カ国、Oメンバー(オブザーバーの国)：24カ国、傘下に14のTA(Technical Area)がある。なお、TC100の受託審議団体はJEITAであり、TC100国内委員会を運営している。

A. 主な規格化提案

① リモートワーク

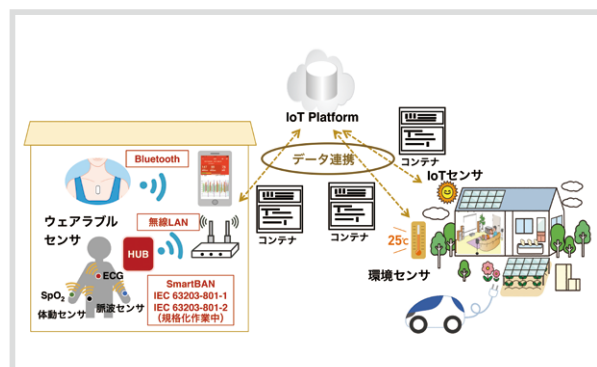
リモートワーク/サポート&コントロールシステム対応PG主査・大内敏氏(日立製作所)より、TA18(エンドユーザーネットワーク)・Web会議にて、ARおよびVRを用いたリモートワークについてのTR提案があり、審議の結果、PWI(Proposal Working Item)を設置し、TA18にて検討していくことになりました。

【リモートワークの例】



② データコンテナフォーマット

センサ信号コンテナフォーマット対応PG主査田中宏和教授(広島市立大学)より、新規提案の“Wearable Sensing Data Container Format for IoT”のWorking Draft概要が説明され、秋にNP提案を行うべく準備を進めることになりました。



<国際標準化の課題と目的>

- ウェアラブルセンサは、現在多様な用途で開発されているが、異なる種類のセンサどうしはもとより、同じ種類のセンサであってもセンサメーカー毎に各種パラメータや信号の出力形式が異なっている。
- 我が国が主導してウェアラブルセンサ信号のコンテナフォーマットを標準化し、容易な接続性を実現すると共に、データの共有・連携を可能とすることでIoT/CPSサービスの適応性、柔軟性を高めて市場の拡大を目指す。

③ Dependable Line Code

山崎信行慶応大学教授より、IECTR 63094(Multimedia systems and equipment - Multimedia signal transmission - Dependable line code with error correction)をベースにした新規提案についての説明があり、NP提案することになりました。

<新規提案の概要>

今回の提案は、TR 63094の伝送コード体系を改善し最適化したもので、以下の特徴を持つ。

- エラー検出機能に加え、エラー訂正機能をもつ。
- クロック埋め込みとDCバランスにより、デバイス間のデータ伝送に適する。



上記2つの特徴により、通信の上位層での処理を軽くすることができるため、センサーネットワークやウェアラブルデバイス間の通信などに適しています。

④ Haptics (Tactile Display) Technology

田中宏和PLより、DTRの投票結果についての説明があり、7月にTRが発行されることになりました。

<発行予定のTR>

IEC TR 63344 ED1 : MULTIMEDIA SYSTEMS - HAPTICS - CONCEPTUAL MODEL OF STANDARDIZATION

※今後は用語について、検討していく予定。

⑤ 他国からの主な新規提案

中国および韓国を中心に下記のようなタイトルの提案 (AGS内での準備段階のものを含む) について、進捗報告がありました。

<主な新規提案のタイトル>

1. Automatic speech recognition
2. Visual comfort of display systems
3. Ultra Low Latency Communication and Control System
4. The form factor and use case of a smart mobile device for multimedia service

B. 国際役員の交代

① TA6国際議長の交代

2021年4月大高秀樹氏 (パナソニック) から勝尾聡氏 (ソニー) に交代しました。

② TA20国際幹事の交代

2021年9月に市村元氏 (ソニー) から鈴木伸和氏 (ソニー) に交代する予定。

C. 組織の再編

TA1とTA10のマージ

寺崎国際幹事より、3年前に組織の再編を行ったが、今の状況を踏まえ、TA10をTA1へマージしたいとの提案があり、次回TC100総会にて審議することになりました。

<現在の傘下TA>

- TA1 : 放送用エンドユーザ機器
- TA2 : 色彩計測および管理
- TA4 : デジタルシステムインタフェース
- TA5 : ケーブルネットワーク
- TA6 : ストレージ
- TA10 : マルチメディア電子出版・電子書籍
- TA15 : ワイヤレス給電
- TA16 : AAL (自立生活支援), アクセシビリティ
およびユーザインターフェース
- TA17 : 車載機器、マルチメディアシステムおよび機器
- TA18 : エンドユーザネットワーク
- TA19 : 環境
- TA20 : オーディオ

D. 今後の予定

TC100国際幹事より、今後の予定について、下記のような説明がありました。

2021年9月 : Plenary会議 : Web会議

2022年5月 : AGS/AGM会議 : 日本・岡山

2022年9月 : Plenary会議 : 米国・サンフランシスコ

E. 国内対応

TC100にて審議しているIEC規格は、AV&IT標準化委員会にて審議しており、従来のAV&IT関係の規格に加えて、リモートワークやeスポーツなどの新しい分野の標準化についても検討しています。

AV&IT標準化委員会

- 1) 社数 : 29社
- 2) 事業概要 :
 - ・マルチメディア (AV&IT) 機器・システム分野の標準化推進とIEC/TC100対応
 - ・IEC/TC100規格・ISO規格・JTC1規格の作成、提案、審議 国際会議対応 など
 - ・JEITA規格・JIS規格・国内関連規格の作成、提案、審議 など
 - ・上記分野の標準化方針、ビジョン、基本政策の策定と関連委員会への周知
 - ・傘下の委員会間の課題解決調整、情報交換共有
 - ・委員会、委員会の対外課題への対応と解決調整